

問題（200点）

<出題の意図>

課題文は、2023年11月1日に『SYNODOS（シノドス）』に掲載された記事、穂鷹知美氏執筆の「オーバーツーリズムとコロナ禍の先にあるもの——ヨーロッパの観光の現状から考える」からの抜粋である。ヨーロッパを事例に、オーバーツーリズムが地域住民の生活環境にもたらす負の影響が挙げられ、またその改善に向けたウィーンやアムステルダムなどの取り組み事例が紹介されている。受験者には課題文を理解し、自身の経験や知識から想像して、オーバーツーリズムが引き起こす弊害の改善策を考え、具体的な事例を挙げながら、適切な表現で論述することを求めている。

<採点のポイント>

以下の点について、「関心・意欲」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価する。

- ・ 課題文の内容を正確に読み取っているか。
- ・ オーバーツーリズムが引き起こす弊害とそれに対する既存の取り組み等について、具体例を挙げているか。
- ・ 整合する取り組みを提案できているか。
- ・ 記述が説得力をもち、小論文としてまとまっているか。